



## 栃木SC

# 芝の成長とともに、まちとクラブが育つ。GROWTH PROJECT 1/2

栃木SCは、専用拠点を持てないという長年の課題を背景に、さくら市と進める練習拠点整備を「GROWTH PROJECT」として“未来づくり”へ昇華させています。芝づくり体験や学び、練習見学・交流の場を設け、市民・企業・ファンが整備の過程から参画しています。ふるさと納税等も活用し、関係人口と地域の誇りを育てる循環を創出します。スポーツの力で、健康・教育・環境意識まで広げ、持続可能な地域価値を共創します。



活動場所 栃木県さくら市



協働者

行政、企業、住民、学校、ファン・サポーター、商工会、都道府県サッカー協会、飲食店、選手、農業団体、ボランティア、公益財団法人

協働者名

さくら市



協働者の声

さくら市 教育委員会 スポーツ振興課



さくら市は「スポーツを核とする元気で健康な地域づくり」を進めています。市民と共に今しかできないグラウンドづくりを進め、選手の練習場がふれあいの場となるよう、チームを応援しながら共に歩んでいきたいと考えています。



活動詳細情報

1

[公式サイト](#)



カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ





栃木SC

芝の成長とともに、まちとクラブが育つ。GROWTH PROJECT 2/2

## Story

栃木SCは、専用の練習拠点を持ってないという長年の課題を、ただの施設整備で終わらせず、地域の未来づくりへ広げるために「GROWTH PROJECT」を始動しました。

練習環境は選手にとっての“職場”です。だからこそ、整備そのものを地域の理解と参加の中で進め、“つくって終わりにしない”循環をつくります。



写真提供：東亜道路工業株式会社

本プロジェクトは、①施設基盤整備(A)、②地域共創推進(B)、③地域連携発展(C)の3事業で構成されています。

Aでは、喜連川運動場の天然芝化(ポット苗方式)等により、選手が安心して挑戦できる土台を整えます。

Bでは、その過程を地域の資産に変えます。2025年6月にポット苗づくり体験を実施し、約45日間育てた苗を7月の芝植え体験にて、市民やファン・サポーター約400名がトップチームの選手・スタッフと肩を並べ、田植えのように一本ずつ植え付けました。汗をかいて植えた芝は、もう「誰かの施設」ではありません。「私の芝」が「私たちの芝」になった瞬間であり、完成時の感動と継続的な応援につながっていきます。

さらに8～9月には小学生向け「GROWTHキッズ」を開催しました。芝の状態を観察・記録しながら水やりや草取りも体験し、“芝を守り育てる仕事”を学びに変えました。



Cでは、さくら市との包括連携協定のもと、学校や企業とも連携し、この拠点を起点に健康づくりや学び、交流へと活動を広げ、まちの元気につなげます。

「私の芝→私たちの芝→まちの未来」へ。芝が育つほど、まちとクラブも育っていく——その循環を、これからも皆さんと一緒に育てていきます。